

# 財政改革推進プログラム(案)等に対するご意見・ご提言(県民・団体)

## 林務部

| ご意見・ご提言の内容  | ご意見等に対する見解及び対応  |
|---|---|
| <p>塩嶺鳥獣保護普及センターを継続運営されたい</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・岡谷市が実施している小鳥バス事業の拠点となっている。</li> <li>・小鳥バス事業が50周年を迎える。</li> <li>・貴重なはく製があるので、廃止の場合は地元(岡谷市)に残していただきたい。</li> </ul> <p>(同様1通)</p>  | <p>(森林保全課)</p> <p>入場者数の減少、施設の老朽化から継続運営は困難であり、平成14年度をもって廃止します。</p> <p>50周年目の小鳥バス運行時(5月～6月の毎日曜日)における臨時的利用については岡谷市と調整します。</p> <p>はく製の移転先については、戸隠森林植物園森林学習館や岡谷市等関係機関と調整します。</p>       |
| <p>県営菅平射撃場について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防音壁工事の継続については、事務事業見直しの中で方向がはっきりしない。</li> <li>・射撃場の所有を猟友会に移行した場合、防音壁の設置は猟友会が行うのか。</li> <li>・今まで県と調整を進めてきたが、責任の所在を明確にしてほしい。</li> <li>・この機会に県営射撃場の撤去について要請する。</li> </ul> <p>(同様3通)</p>                                | <p>(森林保全課)</p> <p>県の運営は平成14年度をもって廃止し、施設を撤去します。</p>  |
| <p>雇用創出力が大きく、他業種と比べ環境負荷が少なく持続可能な産業である一次産業に対し、何らかの活性化対策が必要ではないか。</p> <p>(提案内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人材育成プログラムの検討及び構築</li> <li>・土地所有者と耕作者及び施業者が異なる関係の新たな形態作りに向けた検討</li> <li>・環境重視型の直接支払い(デカップリング)制度の検討及び構築などを、パートナーシップ型アウトソーシングにより検討してみてもどうか。</li> </ul> | <p>(林業振興課・森林保全課)</p> <p>林業へ新たに参入を希望する方々を対象とした信州きこり講座や、技術向上のための専門研修などを開催してきましたが、今後も人材育成の充実を図ります。</p> <p>今までも森林所有者と施業者が異なる関係の森林整備に取り組んでいますが、さらに企業等からの整備資金の提供など新たな森林整備の形態を検討します。</p> |
| <p>森世紀ビジョン21支援事業について</p> <p>市町村にとって、事務の迅速化、効率化の意味から有難い事業であり、是非実施して欲しいが、市町村の負担を少なくして頂きたい。</p>  | <p>(林政課)</p> <p>当該事業における森林GISシステムについては、市町村における負担も含め、効率的な実施方法について今後さらに検討していきます。</p>  |